

新春懇談会あいさつ

1月10日

新年も10日をすぎましたが、改めまして、平成18年の新春を健やかにお迎えになられましたことを心からお慶び申し上げますとともに日頃から町政の推進にあたり温かいご理解とご協力を賜りましたことに対しまして心から厚くお礼を申し上げます。

また、本日は何かとご多用の中、新春懇談会にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

新しい年を迎え、ここにあらためまして町政に対するご理解とご支援をお願い申し上げます。

新聞テレビ等で報道されておりますように、昨年暮れから、日本列島は、寒気にすっぽりと覆われておりまして、大雪による災害が多発し、日本海側を中心に新潟県、長野県、秋田県では自衛隊の災害派遣が行われているところでございます。

本町においても、昨年暮れの12月18日から19日にかけてまして猛烈に発達した低気圧の影響を受け、大しけをもろに受けた香深井漁港の灯台が防波堤の先端部分とともに押し流されるという大きな被害に見舞われました。

同時に、香深中学校校舎の一部破損、キトウス地区の海岸侵食、日食観測記念碑や香深井の水中公園、津軽町手然地区の海岸侵食や斜路の決壊、各地区で漁船、ボートの転覆や漁具被害など、大きな被害を受けましたが、幸いにしてひとりのけが人もなかったことにホッと安心しているところでございます。

公共施設の復旧につきましては、すでに国及び北海道と協議をしており、特に北海道の迅速な対応をいただきまして、早急に災害査定を行い、復旧する運びとなっておりますことをご報告いたします。

さて、本町の基幹産業であります水産業は、過去5年間で最悪であった前々年の水揚げに比べますと漁船漁業では幾分回復し、その経営に明るい兆しが感じられましたが全体としては依然として不安定な状況であったと思います。

根付漁業においても、養殖昆布の生産額は前年額を確保したものの天然昆布の生産高は前年を大きく下回り、ウニ漁の生産減と併せて、根付漁業も不振の年となり、漁船漁業の低迷とあいまって漁家所得は大幅な減収となっております。

一方の観光につきましても、昨年は「愛・地球博」と「知床世界遺産登録」の影響から15パーセント減の23万人弱と三年連続で観光入込み数が減少し、観光も厳しい時代を迎えました。

しかしながら、このような厳しい苦しいときこそ観光に携わる皆様方と力を合わせてお客様第一の取組みに努めることや、礼文島の恵まれた自然環境を大切に保護することなどの活動を積極的に展開して、今年

も更に、「最北の花の島礼文島」への観光誘致に全力で取り組んでまいりたいと考えております。

また、介護保険につきましては、制度改正により、その内容が大きく見直される予定となっております。併せて、高齢者の皆さんの心身の健康増進と生活安定の支援を行う「地域包括支援センター」を設置し、これからも高齢者の方々が安心してふるさと礼文で生活できるようにしたいと思っています。

また、少子化対策として児童手当の拡充が予定されているところでありますが、本町においても、町の将来を担うこどもたちの健やかな成長を応援していきたいと考えております。

今、国内の経済は確実に回復軌道にあるとはいうものの本町においては依然厳しい現状にあり、昨年秋の衆議院総選挙においては自民党の歴史的な圧勝によって小泉改革は更に加速していくと予想されます。

特に、国の三位一体改革の総仕上げの年ということで、税源移譲や国庫補助金の廃止や縮減等の中身も大枠が決定され、更に地方交付税改革による交付税の更なる削減という大きな流れの中で、地方自治体は財源不足がますます深刻になっております。

迎えた平成18年も、更に厳しい財政状況ではありますが、更なる経費の節減を図り、また、町民のみなさんにもご負担をお願いしながら、元気を出せる地域づくりに邁進して参りたいと考えているところでございますので、ご理解をいただきたいと思っております。

そんな中で私は、長年の懸案でありました温泉を掘削するため、昨年12月に「温泉開発基金」を設置させていただきました。

みなさんからのご協力をいただきながら温泉開発事業を進めていきたいと考えておりますので、より一層のご理解とご支援をお願い申し上げる次第でございます。

さて、昨年4月から合併新法が施行され、平成21年度までの5カ年の中で、各市町村ともに地方自治体のあるべき姿を見出す新たな取組みが求められております。

本町においても、進むべき方向性を見出すため、昨年春から庁内プロジェクトチームで合併問題と三つの行政改革のための検討を加えてきたところであり、今後5年間の財政シミュレーションを作成し、「礼文町の方向性」について半年間にわたる客観的な議論を通してそれぞれの結論を導き出したところでございまして、私は、その結論を踏まえ、財政が逼迫しているわが町が、「行政能力」「財政能力」「自治能力」を有した基礎自治体として進んでいくためにどうあるべきかを、議会のみなさんと協議しているところでございます。

今年は、さらに町民の皆様方との協議を重ねまして、わが町の将来を見出していきたいと考えておりますので、ご理解をいただきたいと思います。

このように、多くの課題を抱えて新しい年を迎えたわけではありますが、戌年は「収穫の年」とも言われておりまして、私は、これまでの改革が実を結ぶ年であってほしいと願っております。

そして、更に元気の出せる明るい年となるよう、職員一同、力を合わせて頑張ってまいりますので、みなさまの温かいご支援を心よりお願い申し上げる次第でございます。

結びになりますが、礼文町の限らない発展と本日ご出席をいただきました皆様方の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、新春懇談会のご挨拶といたします。

本年もよろしくお願いいたします。